

琉球弧・宮古島の 軍事要塞化と戦争準備

いま、琉球弧の島々では急速に軍事基地化が進み、 そこに暮らす人々は、日常生活の中に戦争前夜の空気、 命が脅かされる危険を感じている。 多くの映像(写真・動画)などの正確な最新情報によって、 この受け入れ難い「不都合な真実」を伝えたい。

日 時:2025年 0月 6日(木) 19:00~21:00 (18:30 開場)

講師:清水早子さん(ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表)

会場:東京YWCA会館カフマンホール (JR御茶ノ水駅徒歩4分)

参加費: | 000円 学生無料 (学生証提示)

*見逃し配信 500円







Peatix













清水早子さん(しみずはやこ)

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会 共同代表。

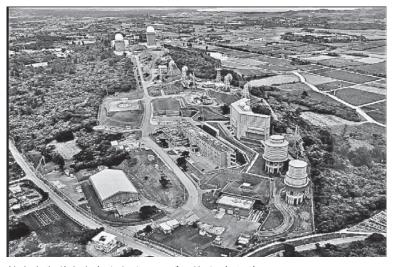
1995年より宮古島にて教育労働者として就労。島の子どもたちと向き合いながら、島の軍事化に反対し、反戦反基地の市民運動に取り組んで四半世紀。フェイスブック「いんしゃあかなす」「NO MISSILE MIYAKOJIMA」プログ「ryukyuheiwa 琉球弧の軍事基地化に反対するネットワーク」等で発信している







軍事要塞化する宮古島



航空自衛隊宮古島分屯地レーダー基地(野原)



陸上自衛隊宮古島駐屯地 (千代田)



国会前行動に 2000 人結集 (2023 年 II 月 23 日)



ミサイル部隊配備に抗議ゲート前集会でゲートを封鎖させる(2020年3月21日)



一般公道を走行訓練するミサイル車両



自衛隊員の行軍(多良間村)



宮古島市の広報誌 基地の ある地域の新成人が旭日旗 を背景に撮影した写真(上 段左 2024 年 2 月)

清水早子さんの寄稿論文・レポート

- ・「フォトレポート『下地島空港』の軍事利用を許さない」2002年
- ・「国策に翻弄される沖縄・宮古島『下地島空港』」2007年
- ・「宮古諸島・重層する被支配の歴史」2009年
- ・「追体験・宮古島 1945 ~ 1972」2012 年
- ・「宮古島軍事化フォトレポート 2022 軍事要塞化と調う戦争準備」 2022 年 ※ いずれも労働総合誌「飛礫」に寄稿
- ・「オキナワ・宮古島で考える『ゆいまーる』のオルタナティブ」2011年 ※アジア女性資料センター「女性たちの21世紀」65号
- ・「けーし風」(新沖縄フォーラム刊行季刊誌) に宮古島闘いのレポート ※2017 年、2018 年、2019 年、2021 年、2023 年に寄稿
- ・「琉球弧の軍事要塞化と日米軍再編」2022 年 ※コンパス 21 刊行委員会発行「コンパス 21」vol.25
- ・「島はどう変わったか ミサイル基地がやって来た観光の島・宮古島」 ※建築ジャーナル 2025 年 7 月号

